

障害児デイ施設内覧会

今井雲のポケットきょうまで

重度の心身障害児や障害者を対象にしたデイサービス事業所として松本市今井に10月開

所する「雲のポケット」の内覧会が15日、2日間の日程で始まった。

日中に通所利用を受け付け、医療ケアや発達支援に精通した専門職員が療育や入浴サービス、児童発達支援などを行う。障害者の生活や育ち、家族をきめ細やかに支える県内でも数少ない施設となる。

16日の内覧は午前9時～午後4時。NPO法人こすもけあくらぶ(長野市)が運営する旧民家を改築した施設には、横になったまま入浴できる浴槽や、ゆったりと過ごせる畳敷きのスペースを備えた。療育には、障害者の自主性を尊重しながら頭と心の調和のとれた発達を援助するムーブメント教育・療法も取り入れ、内覧会に訪れた子供たちが早速、専用の遊具を使って多彩な遊びを楽しんでいた。

元高校教諭で、看護や障害者の相談支援事業にも詳しい林律子所長は「地域のニーズに応え、利用者がさまざまな体験をできる温かい施設にしていきたい」と話している。

広々としたスペースで遊ぶ子供たち



内覧の事前予約は必ず8000・2620(要ない。問い合わせはへ。
林所長(☎070・4 (荘 隆子)